

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2000-205356(P2000-205356A)

【公開日】平成12年7月25日(2000.7.25)

【出願番号】特願平11-7993

【国際特許分類第7版】

F 16 H 7/12

【F I】

F 16 H 7/12

A

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月27日(2005.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ケーシングに設けられたシリンダ孔に対してプランジャに設けられたピストン部が進入し、該シリンダ孔とピストン部の端面との間に高圧油室が形成された油圧式オートテンショナにおいて、前記プランジャに設けた被圧面と前記ケーシングとの間にリターン用高圧ガスを封入した高圧ガス室を設け、該被圧面にかかるリターン用高圧ガスの圧力によりプランジャをケーシングから退出する方向に付勢することを特徴とする油圧式オートテンショナ。

【請求項2】

前記ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の内側を前記シリンダ孔とし、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間に前記高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に前記高圧ガス室を設けた請求項1記載の油圧式オートテンショナ。

【請求項3】

前記ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間を前記シリンダ孔とし、該内筒の内側に前記高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に前記高圧ガス室を設けた請求項1記載の油圧式オートテンショナ。

【請求項4】

前記ピストン部の内部に前記高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に前記高圧ガス室を設けた請求項1記載の油圧式オートテンショナ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1) ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の内側をシリンダ孔とし、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間に高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に高圧ガス室を設ける。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(2) ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間をシリンダ孔とし、該内筒の内側に高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に高圧ガス室を設ける。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(3) ピストン部の内部に高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に高圧ガス室を設ける。